

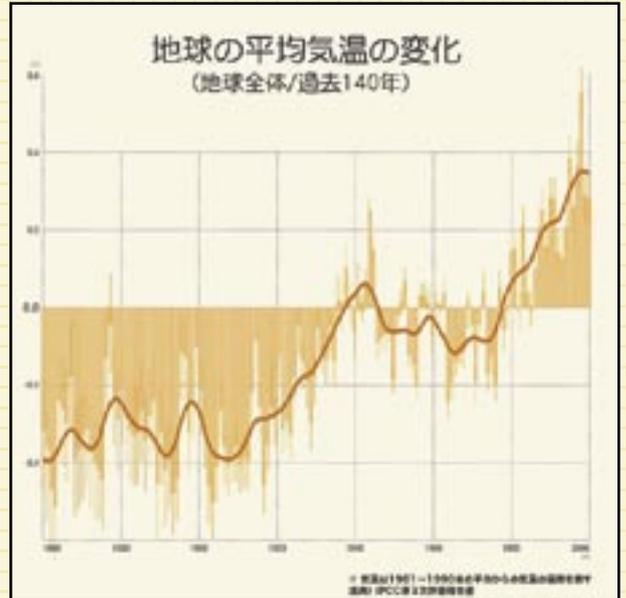


# 知っていますか？ 地球温暖化

私たち一人ひとりのちょっとした関心と行動が、地球温暖化防止の第1歩となります！

現在、地球の平均気温が上昇傾向にあり、人類をはじめとする生物界全体に深刻な問題をもたらすことが指摘されています。

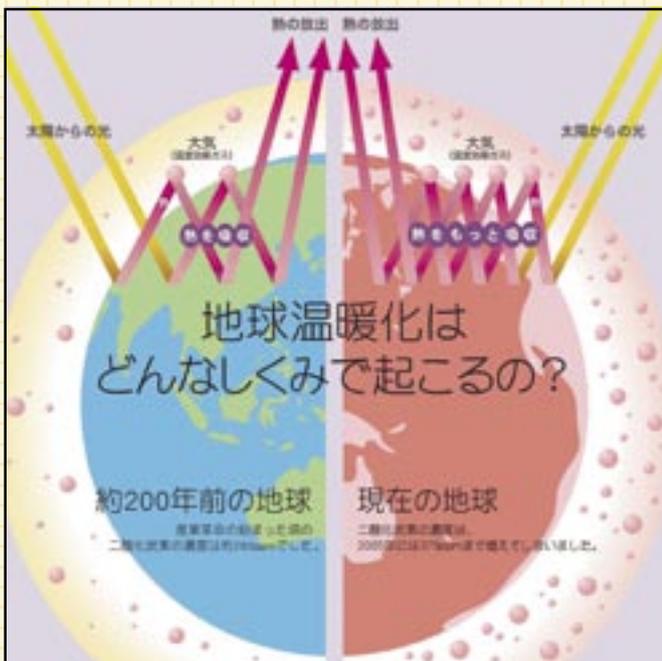
その原因として、さまざまな要因が考えられますが、世界の科学者で構成されるIPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、2001年発表の第3次評価報告書では、近年観測された温暖化の多くは、人間活動によるものとし、2007年発表の第4次評価報告書においては、気候システムの温暖化は疑う余地がなく、大気や海洋の世界平均温度の上昇、雪氷の広範囲にわたる融解、世界平均海面水位の上昇の観測から明白となっていると報告がなされています。



▲出所) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

## 地球温暖化の原因は？

地球に届いた太陽光は地表での反射などにより、最終的に宇宙に放出されますが、地球の表面を取り巻く大気により、急激な気温の変化が緩和されています。



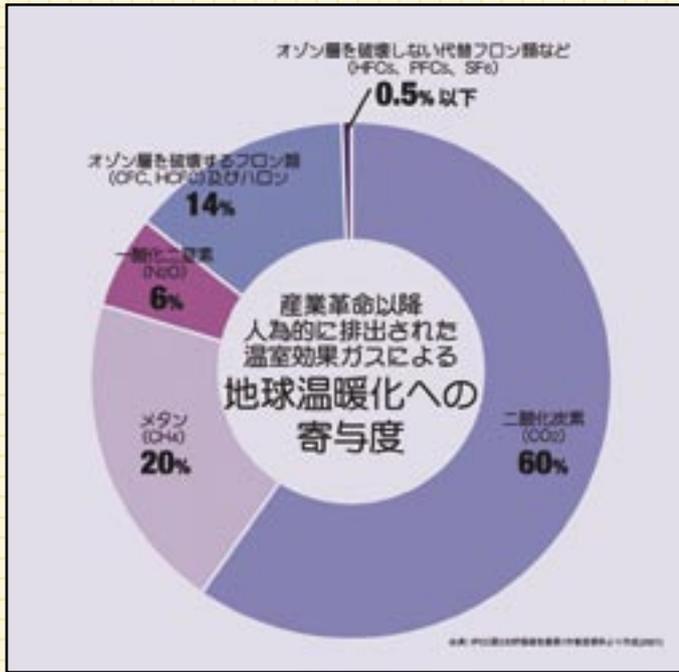
▲出所) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

この作用は温室に似ているため「温室効果」といわれ、その効果をもたらすものを「温室効果ガス」といい、二酸化炭素はその代表例で、地球の平均気温を15℃程度に保つのに大きな役割を果たしています。

しかし、その温室効果ガスの急激な増加が原因で、地球の平均気温が上昇している可能性が高いと考えられることから、その削減への取り組みが求められています。



## なぜ温室効果ガスはなぜ増えたのか？



▲出所) 全国地球温暖化防止活動推進センター  
ウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

温室効果ガス、特に二酸化炭素が増えた原因としては、18世紀後半の産業革命を契機にエネルギー源が人力、馬や牛などの動物、水や風など自然の力から、石油や石炭などの化石燃料へと移り、その消費が増えたことで、大気中の濃度が上昇したといわれています。

また、人間が光合成によって空気中の二酸化炭素を固定する木々を燃料として使用したり、土地を耕作や放牧に利用するため、木を伐って開発することで森林面積を減少させてしまったことも増加の一因となっています。

二酸化炭素以外の温室効果ガスも、私たちの生活と密接に関連した事柄から発生しています。



メタンは天然ガスの主成分で、腐ったゴミや水田などからも発生し、牛や羊、山羊などのゲップにも含まれています。

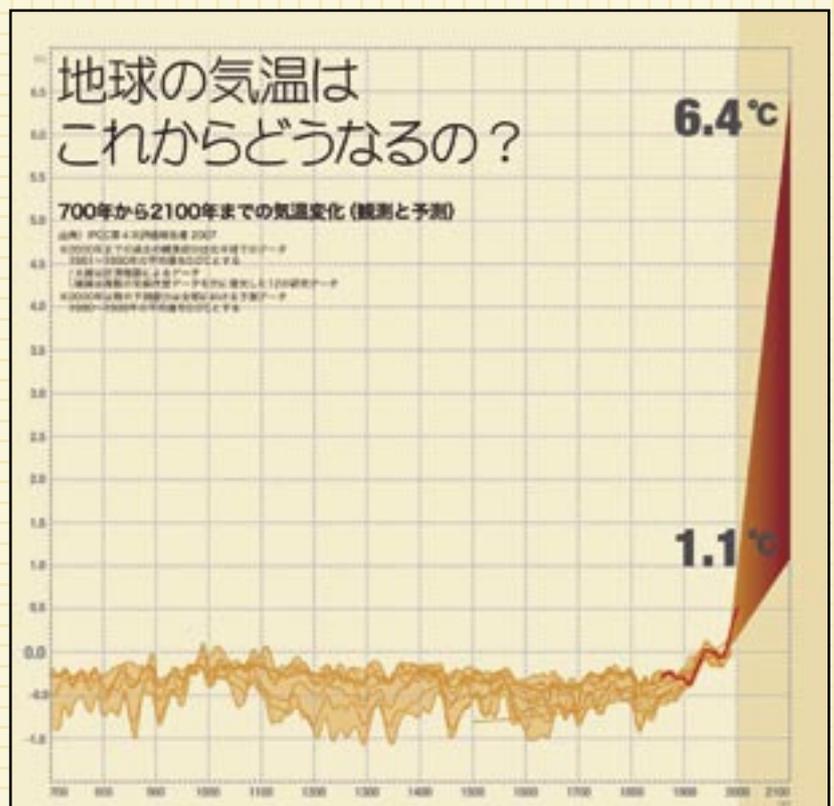
一酸化二窒素は、物の燃焼や窒素肥料の施肥などにより発生します。

フロンガス(CFC、HCFC類)は、人間が新たに作り出した人工化学物

質で、スプレー缶や冷蔵庫・エアコンの冷媒

などとして使われてきましたが、オゾン層破壊の原因物質でもあることが判明したため、規制されることとなりました。

フロンの代わりに近年使用量が増えているのが代替フロン(HFC、PFC、SF<sub>6</sub>等)で、これらはオゾン層を破壊することは少ないのですが、強力な温室効果ガスであることには変わりがないので、地球温暖化の面からは問題となっています。



▲出所) 全国地球温暖化防止活動推進センター  
ウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

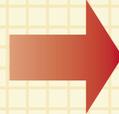
## 地球温暖化の影響

温室効果ガスの増加による地球温暖化への影響は、大気の温度上昇といったことだけではありません。

自然環境の変化をはじめ、多くの深刻な影響がでてくるものと予想されています。



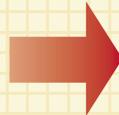
例①



▲ヒマラヤ(東ネパール)のAX010氷河の後退状況写真。(左:1978.5.30、右:2004.8.21)  
引用:「全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)」



例②



▲沖縄県 慶良間列島 阿嘉島周辺のサンゴ礁の白化現象(左:1994、右:1998)  
引用:「全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)」

## 地球温暖化の進行により発生するといわれている影響について

- ①海水の熱膨張、氷河や氷床が融けて海面が上昇することで、低地が水没の危機にさらされます。
- ②動植物は、生息域や成長量の変化を強いられ、現在絶滅の危機にある生物は、ますます追い詰められ、さらに絶滅に近づきます。
- ③マラリアなど熱帯性の感染症の発生範囲の拡大や、熱波や干ばつの影響で病気の発生や死亡率が増加するおそれがあります。
- ④降雨パターンが大きく変わり、内陸部では乾燥化が進み、熱帯地域では台風、ハリケーン、サイクロンなどの熱帯性低気圧が猛威を振るい、洪水や高潮の被害が多くなります。
- ⑤気候の変化や病害虫の増加で、穀物生産が大幅に減少し、世界的に深刻な食糧難を招く恐れがあります。



# 家庭でできる温暖化対策

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。  
まず、下に挙げた10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

1

冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることにより冷暖房の設定温度を工夫して過ごしましょう。

年間約33kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約1,800円の節約



2

週2日往復8kmの車の運転をやめる

通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。

年間約184kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約9,200円の節約

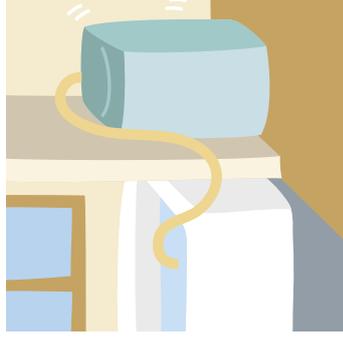


6

風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

洗濯や庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。

年間約7kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約4,200円の節約

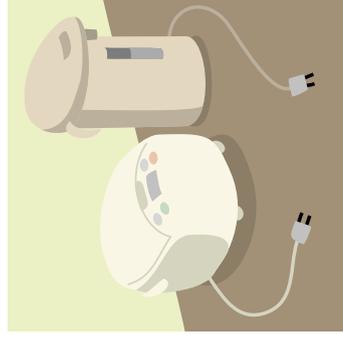


7

ジャーの保温を止める

ポットやジャーの保温は利用時間が長いと、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温めなおす方が電力の消費は少なくなります。

年間約34kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約1,900円の節約

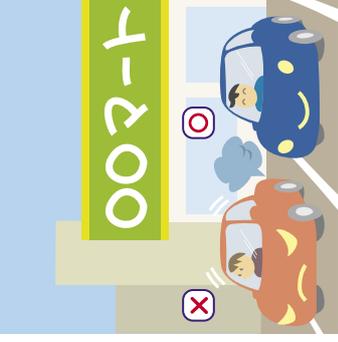


3

1日5分間のアイドリングストップを行う

家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす

駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。



年間約39kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約1,900円の節約

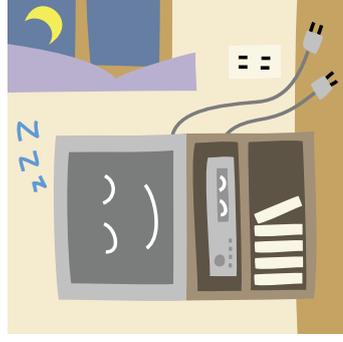
家族が別々の部屋で過ごす時、暖房も照明も余計に必要になります。



年間約238kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約10,400円の節約

#### 4 待機電力を50%削減する

主電源を切りましょう。長期間使わないときはコンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い換えの際には待機電力の少ない物を選ぶようにしましょう。



年間約60kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約3,400円の節約

トレーやラップは家に帰れば、すぐごみになります。買物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。



年間約58kgのCO<sub>2</sub>の削減

#### 5 シャワーを1日1分家族全員が減らす

身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。



年間約69kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約7,100円の節約

#### 10 テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす

見たい番組だけ選んでみるようにしましょう。



年間約14kgのCO<sub>2</sub>の削減、  
年間で約800円の節約

全国地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.jccca.org>

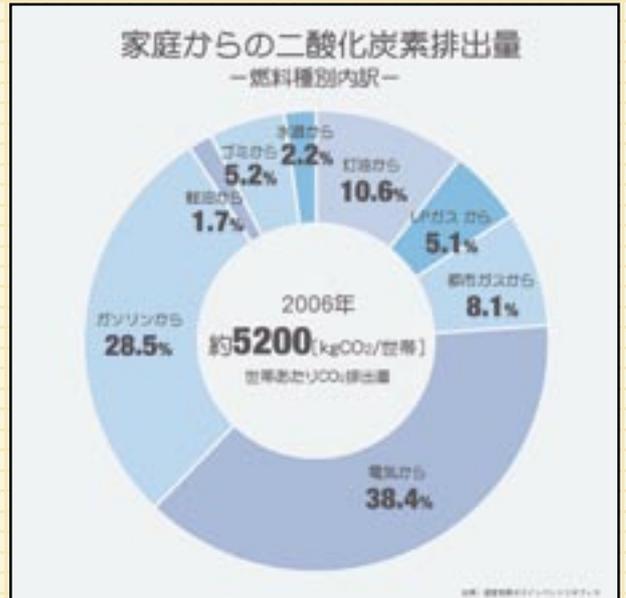
## 私たちにできること

温暖化防止の対策として、温室効果ガスの削減目標を定めた「京都議定書」で、日本は2012年までに1990年比で「6%」削減しなくてはなりません。

私たちの生活からも温室効果ガスが「直接的」あるいは「間接的」に排出されていることを考えると無関係とはいえません。

温室効果ガスを出さないように、今の生活スタイルを一切やめてしまうことは、非常に難しいと思われます。しかし、難しいからと、何もしないままでは温暖化の状況は改善せず、悪化し続けていくだけです。

また、温暖化防止対策への取り組みは、温室効果ガスの削減状況などが目に見えず、実感もわきづらい事から「これくらいでは変わらない」「自分だけが取り組んでもしょうがない」といったような考えや気持ちになりがちだと思われます。



▲出所) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

### エコライフ - 消費 -

① 買ったときは使わず、必要なときから使います。使わないものは、買わない事が理想ですが、購入するときはできるだけ環境にやさしいものを選びましょう。

② 自分の買い物を減らして、必要最低限のものを選びましょう。

③ 無駄の少ないものを買いましょう。

④ 買ったときは使わず、できるだけ長く使用しましょう。

⑤ 洗剤や化粧品などは、中身の詰め替えができるものを選びましょう。

⑥ リターナブル瓶を使いましょう。

⑦ エコマークや環境にやさしい家電製品を選びましょう。

⑧ 消費の少ない電球を選びましょう。

⑨ リサイクル製品を購入しましょう。

環境に配慮した製品についているマークを参考に、グリーン購入を心がけましょう。

エコマーク

環境に配慮した製品についているマークを参考に、グリーン購入を心がけましょう。

環境に配慮した製品についているマークを参考に、グリーン購入を心がけましょう。

グリーンマーク

環境に配慮した製品についているマークを参考に、グリーン購入を心がけましょう。

R100

再生紙使用マーク

再生紙を使用した製品についているマークを参考に、グリーン購入を心がけましょう。

JCCCA

全国地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.jccca.org>

まずは、一人ひとりが気負わずに「普段の生活の中で「無理なく取り組むことができる」ことからスタートするなど、小さな取り組みを積み重ねていくことが大切ではないでしょうか。



「青い星」と言われる地球の環境を守り、未来へと引き継いでいくためにも、温暖化防止対策の取り組みにご協力をお願いします。

**北谷町 住民福祉部**  
**保健衛生課 環境係**

〒904-0103 沖縄県北谷町字桑江731  
(保健相談センター内)

TEL: 982-7033 FAX: 936-4440

平成21年3月発行

※本パンフレットの作成にあたっては、全国地球温暖化防止活動推進センター (<http://www.jccca.org/>) より図表集や写真、情報等を使用・引用させていただきました。

※本パンフレットは再生紙と、大豆油インキを使用しています。

